

語り継ぐ家 傑作選

名作住宅

Special Features

008 情景を、据える。

- 010 ここにしかない豊かさを大切に。コンフェット 株式会社
014 窓の外にみずから描く緑あふれる森の風景 / 木造ホーム 株式会社 小川建美
018 非日常を日常にする湖畔の住まい / あなぶき・きりの家 株式会社
022 空を切り取り、緑を映し暮らしに四季を届ける窓 / 株式会社 近藤建設興業
026 高台の庭先に浮かぶ美しい桜の情景 / 有限会社 マツミ住宅
030 敷地のもつ価値を引き立てる窓の造作 / 株式会社 木村
034 風景を呼び込み豊かな居場所を創る / KNOT 株式会社 押田建設

038 住まいに情景を据える、「窓」の在り方

166 住まいの性能 - Well-beingな暮らし -

- 168 高性能で五感に響く心地よさを実現 自然素材にこだわった住まい / 木創 / 有限会社 ル・アーンジュ
172 豊容る安らぎに満ちた 高性能な住まい / 株式会社 SANKO
176 自然に寄り添い健やかに住もう ニュートラルパッシブの家 / 株式会社 近藤建設興業
180 全熱交換型換気システムとW断熱が 家族の健やかな暮らしを支える / 有限会社 まんてん。

186 平屋回帰

- 188 シンプルスタイルの平屋で穏やかに暮らす / 有限会社 まんてん。
190 風景を切り取り、安らぎを育む平屋 / さほらび by 佐保建設

196 CORPORATE IDENTITY

Discover Craftsman

200 時代を超えて受け継がれる技と心

実例や工務店の情報が
動画でも見られます。
誌面の「movie」とついたQRコードを
読み取って、ぜひご覧ください。



Regular

050 名作住宅

- 052 あたたかな陽光に誘われて窓辺に人の集う家 / さほらば by 佐保建設
- 058 光と影、家具とアートが調和し、魅せる家 / 木造ホーム 株式会社 小川建美
- 064 四季折々の光と共に暮らすコートハウス / 株式会社 近藤建設興業
- 070 健やかな日常の真ん中で至福のくつろぎに浸る / 株式会社 SANKO
- 076 愛するものに囲まれて心豊かな日常を紡ぐ家 / 株式会社 SPECIALABO(スペシアラボ) 一級建築士事務所
- 082 豊かな自然を暮らしに呼び込む土間リビングの家 / 株式会社 コラボハウス 一級建築士事務所
- 088 内なる豊かさを生む開放と閉鎖の対比 / KNOT 株式会社 押田建設
- 092 木の質感と光の豊かさをシンプルに味わう住まい / 株式会社 イチマルホーム
- 096 絶景と心地よさを取り込む唯一無二の豊かな空間 / あなぶききりの家 株式会社
- 100 個々の居場所をつなぎ家族の絆を育む住まい / 有限会社 FOREST WORKS
- 104 安らぎが満ちる平屋で暮らしも心も穏やかに / life port
- 108 住まいのすみずみに宿る人の手のあたたかさ / 株式会社 アトリエイデア
- 112 おおらかな平屋がかなえる愛猫との幸せな日常 / 株式会社 平田建設
- 116 柔らかな光あふれる2階リビングの住まい / 株式会社 掛谷建設
- 120 アートな感性が息づくくつろぎの邸宅 / 株式会社 建房
- 124 住むほどに肌になじむ手づくりの木の住まい / 木創 / 有限会社 ル・アーージュ
- 128 リゾートの風が吹き抜ける白壁のサーファーズハウス / ALOHA&STYLE Inc. / 西部建設 株式会社
- 132 心地よく抜ける視線の先に四季の移ろいを感じる家 / 株式会社 木村
- 136 日常を繋げるのは庭の風景と家の安らぎ / 有限会社 マツミ住宅
- 140 暮らしの質を高める内外空間のつながり / 株式会社 木まま
- 144 大開口とデッキが運び込むあたたかな暮らし / 有限会社 まんでん
- 148 木の家で訪がれる家族の楽しい時間 / 株式会社 森本工務店
- 152 格子戸の内に聞かれるおおらかな家族の暮らし / コンフェット 株式会社
- 156 上質な和のしつらいで表現する「もてなしの心」 / 株式会社 なんば建築工房
- 160 日々の暮らしにアートを 夫婦の美意識が宿る住空間 / 株式会社 アトリエクオーレ 一級建築士事務所

209 住宅会社紹介LINEUP

240 資料請求できる会社一覧

情景を、据える。

住まいに情景を据える、 「窓」の在り方

住まいに「窓」を設けること

それには、採光や通風といった実用面だけでは
語りきれない“良さ”がある。

その土地の特徴を設計士が読み取り

役割を持たせた「窓」という一枠をつくる。

その枠は切り取るものをより強調し、

美しく縁取る。

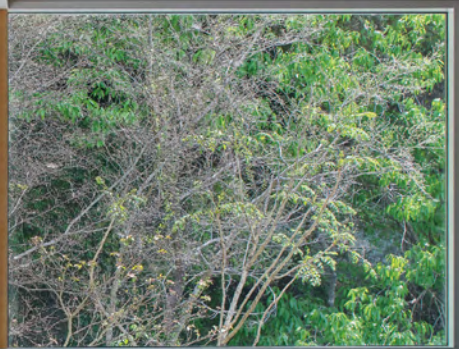
ふと目をやるとそこにある、「いつもの風景」は、

日々移ろいいつも変わることなく暮らしに寄り添い

心に平穏をもたらしてくれるだろう。

ここでは、そんな情景を住まいに据える「窓」の数々を紹介する。

ここにしかない
豊かさを大切に



1階東側はMさまの仕事場。玄関から続く通り土間の先に、2面にまたがるFIX窓を設けている。



天窗がキッチンに柔らかな光を落とす。ダイニングテーブルは意高に合わせて低めに作られている。



木々の一番美しいところを見せる2階リビング。玄関から階段は、ここに向かうまでの静かな序章。

清らかな用水が流れ、のどかな里山の広がる岡山市北東の郊外。森の緑が徐々に濃さを増していく小道の途中、豊かな木々に覆われてMさま邸は立つ。とりわけ大きく茂る2本の梅の木は元々ここにあったもので、当地を訪れたMさまは梅の木と目の前に迫る山を見て、このロケーションを存分に生かす自邸の構想を得た。

黒い玄昌石が敷かれた玄関内は、明るい庭先とのコントラストもあって、ほの暗く静謐な印象。板壁の裏に回るとらせん階段があり、天窓から降る光に導かれて2階へ。上がると視界は一気に開け、窓いっぱい鮮やかな緑が目飛び込んでくる。2階をメインの生活空間としたのは、木々の梢がもつとも美しく映える高さ目線を合わせるため。ダウンフロアのくつろいだりリビング、のびやかな勾配天井のダイニング、そしてすがすがしい北面の洗面室。それぞれの窓は天地のラインをびったりとそろえて連なり、室内のどこにいても広々とパノラマの風景を映す。

早春にはかわいらしい紅白の花に心を癒やし、初夏には青い実をみて梅酒を仕込む。移りゆく四季とともに営まれる、穏やかでぜいたくな暮らしがここにある。



1.手を伸ばせば森に届くような、一面ガラス張りの洗面台。窓の光が漆喰壁に静かな陰影をつける。 2.寝室は構造を現しにして、小屋のような素朴な雰囲気。雨は隣家を避け、高窓に山だけを映す。 3.洗練された抜け感をもたらすコーナー窓。建物を縁取る土間に腰掛けて、近所の人と世間話も。



土地と建築が、心地よく響き合う

床面を下げたリビングと、勾配天井のダイニング。空間ごとに趣を変えながらも全体は調和する。

取材協力／コンフェット 株式会社

問い合わせ

☎ 050-5851-0248

※ IP 電話など一部の電話からはつながらない場合があります（携帯電話は可）。
つながりにくい場合は代表番号 086-236-9705 までおかけください。

会社紹介を見る ▶▶P232 他の施工例を見る ▶▶P152



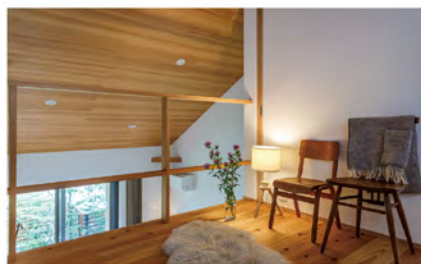
杉板とそとん壁の外観。梅の木の横にあった4本のモミジを、各窓の近くに大切に移植している。



高い吹き抜けの上からダイナミックに降りてくる勾配天井の先。左右に引き分けた窓いっぱい、みずみずしい緑が映る。たくさんさんの木々が枝葉を茂らせて光をキラキラと透かし、芝生に木陰を落とす。「森の中にいるように暮らせたら」、まさにそのMさまの思いをかなえた風景が、窓の外につくられている。

一方、庭側から室内を眺めたときの美しい空間の広がりも、この家の大きな見せ場。リビングを見下ろす吹き抜け上に、サブリビングとして広いホールを設け、上下階にわたる立体的なくつろぎの場所をつくっている。デッキの辺りからの目線で全体が最もきれいに見えるよう、Mさまとスタッフは現場で、ホール床面の高さや窓のサイズ、手すりの位置まで入念に調整したという。

自邸で過ごす休日、暇さえあればご主人は庭仕事にいそしみ、奥さまは家じゅうを見渡しては、住まいがさらにすてきに整うよう考えをめぐらせる。デッキと庭はすっかりリビングの延長という感覚で、庭先に出て食事をするのも日常なのだから。家にいるだけで時間は穏やかに過ぎていき、住まうことそのものを、ご夫婦共にのんびりと楽しんでいる。





1. ナチュラルな雰囲気のあるキッチン。奥さまお気に入りのキッチン雑貨を、背面にセンスよくディスプレイ。 2. 玄関ドアを入って正面。どの窓の外にも植栽を植え込んでいるので、本当に森に囲まれているよう。 3. 柱目の美しいトガ材で洗面台と家事カウンターを造作。窓や勝手口から、明るい自然光が入る。 4. 手入れの行き届いた芝生の庭で、愛犬も思い切り遊べてうれしそう。塀はご夫婦のDIY。

目に映る情景すべてが、素敵でありたい



上下階の窓や手すりのラインにこだわった室内。和室には窓辺に読書のできるカウンターを設けた。

取材協力／木造ホーム 株式会社 小川建美

問い合わせ

☎050-5871-9394

※IP電話など一部の電話からはつながらない場合があります（携帯電話は可）。
つながりにくい場合は代表番号 086-440-0510までおかけください。

会社紹介を見る ▶▶P211 他の施工例を見る ▶▶P58



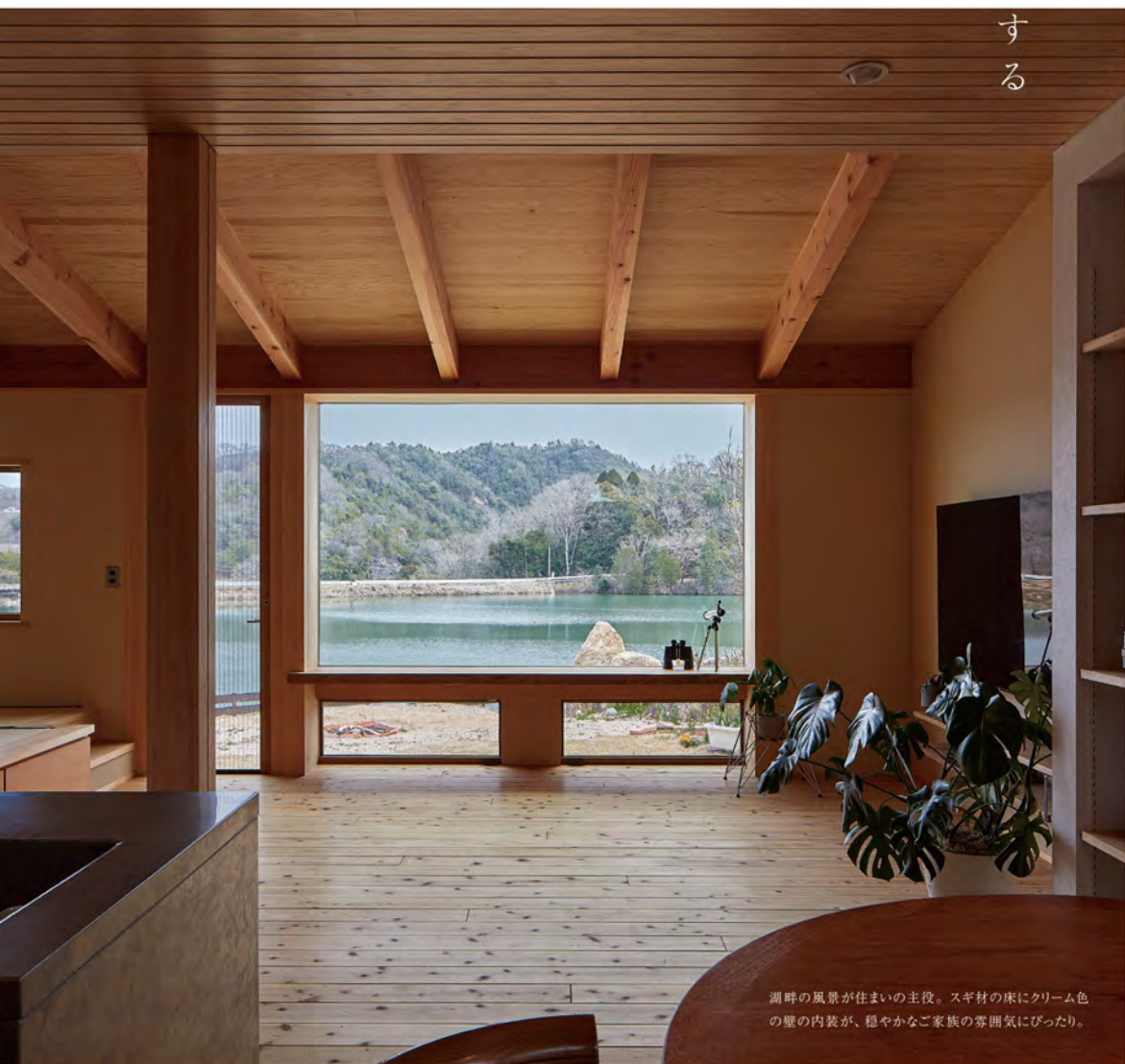
ホールから階下を見下ろす。室内にいろんな居場所があり、それぞれの角度から庭の風景を楽しめる。

情景を、据える。

非日常を日常にする 湖畔の住まい

街の喧騒を離れて車を走らせ、坂道を進んだ先に広がる大きな湖。水面が光を受けてきらきらと輝き、対岸の森から鳥のさえずりが聞こえる。街なかのマンション住まいだったYさまは、たまたま近くのカフェを訪れた際にここに売地があるのを見つけ、「こんな素晴らしい土地に出会ってしまったからには、もう運命だと思って」新築住み替えを決めたという。

設計の軸となるのはもちろん湖の風景。水回りを2階に上げ、1階は眺望を楽しみながらくつろぐ空間に徹することとした。大きな窓に面して設けたカウンターは、どんなカフェにも勝る特等席。カウンターの天板の素材は、当初は一般的な集成材の予定だったが「ここは、やはりメイン



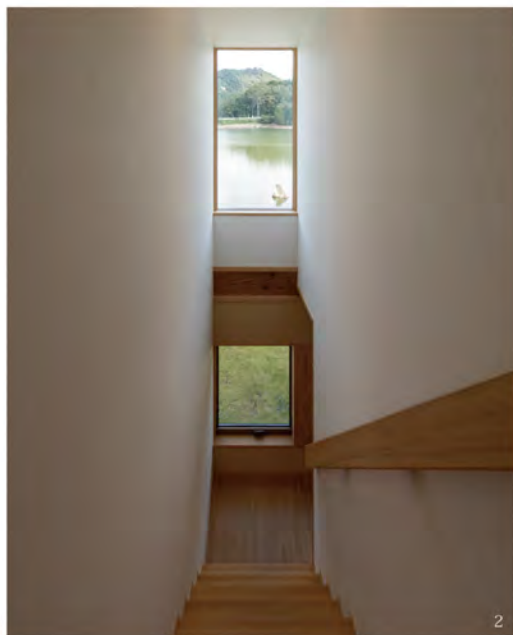
湖畔の風景が住まいの主役。スギ材の床にクリーム色の壁の内装が、穏やかなご家族の雰囲気にぴったり。



の見せ場だから」と、設計士が自ら材木店に足を運んで無垢の一枚板を手に入れたという。2階にある浴室は、人目を気にせず湖に向かって窓を開く。夜勤明けで帰宅するご主人は「明るい時間に、景色を眺めながらゆっくり湯につかれるのが最高ですね」とにっこり。「家にいるだけで、毎日がリゾートのよう。ここに家を建てられて本当に良かったです」と、奥さまも心から満足そうに語っていた。

風景に出迎えられる玄関。土間から右に入るとクローク、左には奥さまの営む陽もみサロンがある。





1. 丸テーブルはマンションの頃から大切にしていたアンティーク品。春には高窓からちょうど板が見える。 2. 階段のピクチャーウインドー。どこにいても視線を気にせず景色を楽しむ。 3. 湖と反対の玄関側は窓を極力減らし、プライバシーを確保しつつすっきりとしたファサードをつくっている。



時が経つのを忘れる、窓辺の特等席

小上がりの和室を通過して奥の階段から2階に行く
造り。カウンター天板の美しい納まりに職人技が光る。

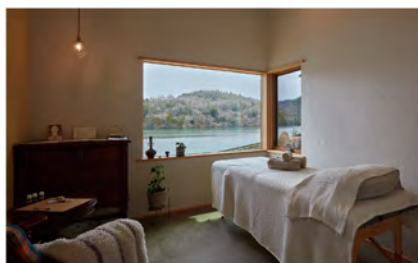
取材協力／あなぶき・きなりの家 株式会社

問い合わせ

☎050-5871-9433

※ IP 電話など一部の電話からはつながらない場合があります（携帯電話は可）。
つながりにくい場合は代表番号 086-275-8239 までおかけください。

会社紹介を見る ▶▶P218 他の施工例を見る ▶▶P96

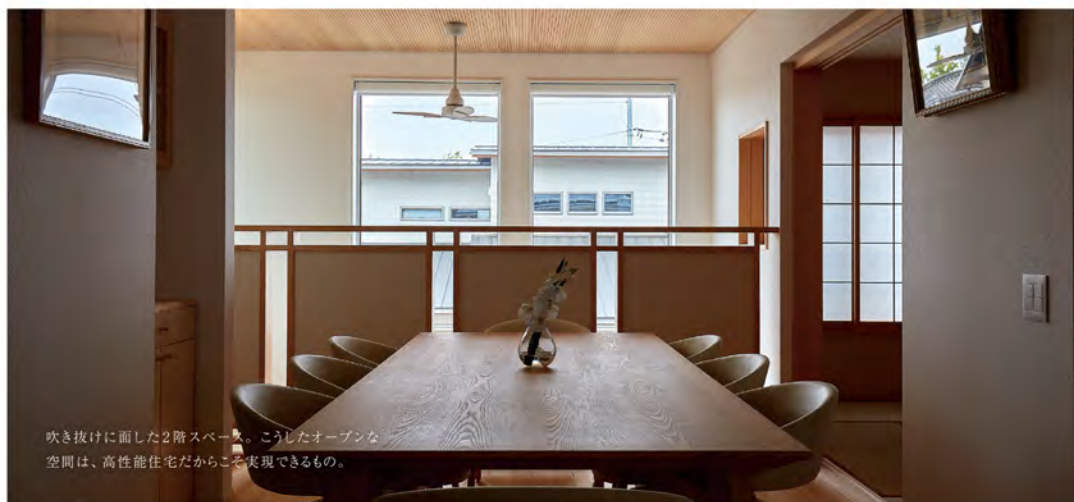


風景に癒やされながら施術を受けられるサロン。
施術後もゆっくりくつろいでいくお客さまが多いそう。

空を切り取り、緑を映し
暮らしに四季を届ける窓



のびやかさと落ち着きを両立したリビング。スクリーン
を開けても、意外の植栽がさりげない目隠しになる。



吹き抜けに面した2階スペース。こうしたオープンな空間は、高性能住宅だからこそ実現できるもの。

「リタイア後の毎日を快適に、安心して過ごせる家をつくりたい」と、お子さまたちが独立してから新居を構えたMさま。娘さんご家族の建てた家を訪ねて行くたびに、ほっとするような室内の心地よさに感動していたといい、同じ「近藤建設興業」に依頼して、同社でも最高ランクの性能を備えた住まいをオーダーした。

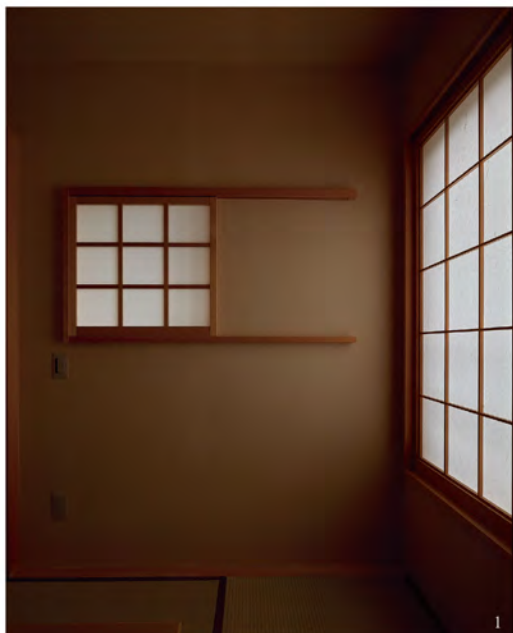
2階はお孫さんたちが集まるための広間とし、普段の生活は1階ワンフロアで完結できる間取り。南側のリビングは、大きな吹き抜けを設けて南東2面の高窓からたっぷりと自然光を取り入れる。十分な明るさがあるのに、1階は掘き出しではなく腰高窓にして、包まれるようなくつろぎの空間をつくった。

吹き抜けを通じて上下階が仕切りなくつながるが、全窓トリプルガラス・内外ダブル断熱で守られた屋内は、わずかな空調ですみずみまで快適に保たれる。

住宅地の突き当たりで人通りが少なく、南向かいは娘さん宅なので、窓を開けてもそれほど外の目や気にならない。南の前庭には窓近くに寄せて数々の植栽を植え込み、自然のカーテン代わりに。鮮やかな緑が日差しと視線を程よく遮り、室内に豊かな潤いを届けてくれる。



夫婦2人でゆったり暮らせる家。腰高窓の下にぴったりと収まったソファは、くつろぎの居場所。



1. 正面の小窓から階下を見下ろせる。2階の和室。端正な障子の造作に、職人の技と感性がうかがえる。 2.1階北側のご主人の部屋。ちょうど前に建物がない位置に窓があり、遠くの山まで視線が抜ける。 3. 水回りは十分なゆとりを確保。洗面室にはヒノキを張り、温泉の脱衣場のようなボックス棚を造作。



三世代の集う場に、あたたかな陽が入る

広い2階にはミニキッチンを完備。吹き抜けに面した窓には全て外に電動シャッターを付け、日射を調整できる。

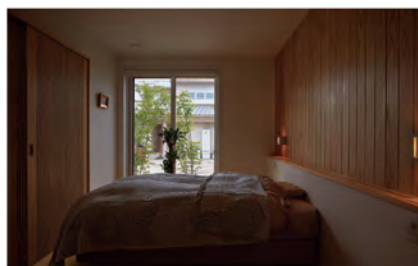
取材協力／株式会社 近藤建設興業

問い合わせ

☎050-5871-9413

※IP電話など一部の電話からはつながらない場合があります(携帯電話は可)。つながりにくい場合は代表番号 086-255-0221 までおかけください。

会社紹介を見る ▶▶P212 他の施工例を見る ▶▶P64・176



板壁の優しい質感に癒やされる、1階南側の奥さまの部屋。左の戸を開けるとすぐリビングに続く。